

## 下記スライド例にて COI 開示

### 様式 1-A 学術講演会口頭発表時、申告すべき COI 状態がない時

<p>日本透析医学会 COI 開示 筆頭発表者名：</p>
<p>演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある企業などはありません。</p>

### 様式 1-B 学術講演会口頭発表時、申告すべき COI 状態がある時

<p>日本透析医学会 COI 開示 筆頭発表者名：</p>
<p>演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある企業などとして、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 顧問：</li><li>② 株保有・利益：</li><li>③ 特許使用料：</li><li>④ 講演料：                    例：(株) ○○○ ① (2013 年)</li><li>⑤ 原稿料：</li><li>⑥ 受託研究・共同研究：</li><li>⑦ 奨学寄付金：            例：×××社 ② (2014 年)</li><li>⑧ 寄附講座所属：</li><li>⑨ 贈答品などの報酬：</li></ul>

学術講演会にて、ポスター掲示の最後に COI 状態を開示する。

様式 1-C 申告すべき COI 状態を開示方法

筆頭発表者：演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある企業などはありません。

或いは、

筆頭発表者の COI 開示

- ① 顧問：                      例 技術顧問 ① (2012-2014 年)
- ② 株保有・利益：
- ③ 特許使用料：
- ④ 講演料：
- ⑤ 原稿料：
- ⑥ 受託研究・共同研究：例 受託研究① (2012, 2013 年)
- ⑦ 奨学寄付金：
- ⑧ 寄附講座所属：
- ⑨ 贈答品などの報酬：